

評価項目表

| 項目 | | 審査基準 | 配点 |
|------------|-------------------|--|-----|
| 1 | 研修計画の策定 | <ul style="list-style-type: none"> 研修の趣旨・目的を踏まえ、実効性の高い研修内容となっているか。 端末制約を踏まえた運営方法(複数回実施、ペア作業等)が具体的かつ現実的に示されているか。 仕様書の要求事項を的確に反映し、全体として整合性のある提案となっているか。 | 15 |
| 2 | BPR研修の実施 | <ul style="list-style-type: none"> DXの基本となるBPRの基本的な考え方が習得できる内容となっているか。 業務の棚卸しや課題の言語化、改善テーマ候補の検討手法が適切か。 | 10 |
| 3 | ツール研修の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 生成AI(Copilot)の基礎・応用的な活用方法が習得できる内容となっているか。 Microsoft365やkintoneについて、基礎・応用的な活用方法が習得できる内容となっているか。 実際の業務を想定した実践的な演習になっているか。 | 15 |
| 4 | 課題別研修(グループワーク)の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 実務課題の深掘り・改善案の作成プロセスが具体的に設計されているか。 伴走支援(ファシリテーション)の方針・方法が明確かつ具体的に示されており、効果的な内容となっているか。 | 10 |
| 5 | 成果発表会の企画・運営 | <ul style="list-style-type: none"> 発表会の企画・運営(進行、講評補助、質疑対応等)が明確に示されているか。 発表テンプレート・評価観点の作成方針・方法が明確に示されているか。 | 5 |
| 6 | 相談体制の構築と運用 | <ul style="list-style-type: none"> 相談受付(電話・オンライン等)の体制が明確かつ現実的か。 回答の質・スピードに関する基準や運用方法が示されているか。 BPR、Microsoft365、kintoneなど幅広い相談に対応可能か。 | 10 |
| 7 | 実績 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から令和7年度までに、国、地方公共団体又は独立行政法人等において、同種または類似業務を実施した実績を有しているか。 | 5 |
| 8 | 実施体制 | <ul style="list-style-type: none"> 本業務を遂行するための体制及び従事予定者の役割が明確に示されているか。 本業務を遂行できる必要な資格、業務経歴等を有する人員が配置されているか。 | 10 |
| 9 | 地場中小企業 | <ul style="list-style-type: none"> 福岡市に主たる事務所を有し、かつ中小企業(みなし大企業を除く)であるか。 共同事業体(連盟提案)の場合は以下の算定式で計算した点数とする。ただし、小数点以下第1位を四捨五入する。 $(5点 \div \text{当該提案の参加企業数}) \times \text{当該提案の参加企業のうち、本店所在地が福岡市内にある企業数}$ | 5 |
| 10 | 追加提案 | <ul style="list-style-type: none"> 本業務の実施に有効、有益な追加提案等が具体的に記述されている場合、加点する。 | 5 |
| 技術点 | | | 90 |
| 11 | 価格点 | <ul style="list-style-type: none"> 以下の算定式で計算した点数とする。ただし、小数点以下第1位を四捨五入する。 $10 \times (\text{提案事業者の最低価格} / \text{提案価格})$ | 10 |
| 合計 | | | 100 |